

# 平成30年度・令和元年度の主な取組

---



概ね5年間で実施する取組(星取表)(2)

○:実施予定 ●:実施中・実施済み -:検討不要 グレ:今後要検討

| 具体的な取組の柱<br>取組の中項目<br>具体的取組                                 | 目標時期      | 取組機関 |     |     |     |     |      |     |    |     |     |       |   |
|---|-----------|------|-----|-----|-----|-----|------|-----|----|-----|-----|-------|---|
|   |           | 浜松市  | 磐田市 | 掛川市 | 袋井市 | 湖西市 | 御前崎市 | 菊川市 | 森町 | 静岡県 | 気象台 | 国土交通省 |   |
| ②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組                               |           |      |     |     |     |     |      |     |    |     |     |       |   |
| ■地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組                                      |           |      |     |     |     |     |      |     |    |     |     |       |   |
| 水防訓練や水防演習等の実施による水防団等との連携                                    | 引き続き実施    | ●    | ●   | ●   | ●   | ●   | ○    | ●   | ●  | ●   | ●   | ●     |   |
| 水防活動や緊急復旧活動に活用する資材の充実の検討                                    | 引き続き実施    | ●    | ●   | ●   | ○   | ●   | ○    | ●   | ○  | ●   | -   | ●     |   |
| 関係機関が連携した実働水防訓練の実施  | 引き続き実施    | ●    | ●   | ●   | ●   | ●   | ○    | ○   | ○  | ●   | -   | ●     |   |
| 水防団や地域住民が参加する、水害リスクの高い箇所共同点検の実施                             | 引き続き実施    | ●    | ●   | ●   | ○   | ●   | ○    | ○   | ○  | ●   | -   | ●     |   |
| 水防団員に対する教育・訓練(水防工法の伝承、安全教育など)の実施                            | 引き続き実施    | ●    | ●   | ●   | ●   | ○   | ○    | ○   | ○  | ○   | -   | ○     |   |
| 水防団員確保に向けて、自治会への説明会や水防団の重要性をPRする資料を作成するなど普及啓発活動の実施          | 引き続き実施    | ●    | ●   | ●   | ●   | ●   | ○    | ○   | ○  | -   | -   | ●     |   |
| ■氾濫水を迅速に排水するための取組   |           |      |     |     |     |     |      |     |    |     |     |       |   |
| 地域が有するポンプ等(消防や建設会社)の活用に向けた情報の整理と共有                          | H29から順次実施 | ●    | ●   | ●   | ○   | ○   | ○    | ○   | ○  | ○   | ●   | -     | ○ |
| 氾濫水を迅速かつ的確に排水するための排水計画の策定                                   | 引き続き実施    | ●    | ●   | ●   | ○   | ○   | ○    | ○   | ○  | ○   | -   | ○     | ● |
| 排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練を実施                         | 引き続き実施    | ●    | ●   | ●   | ○   | ●   | ○    | ○   | ○  | ○   | ●   | -     | ● |
| ■流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進                              |           |      |     |     |     |     |      |     |    |     |     |       |   |
| 河川整備計画等に基づく治水対策の着実な推進                                       | 引き続き実施    | ●    | -   | -   | ●   | -   | -    | -   | -  | ●   | -   | -     | - |
| ため池や水田など流域の貯留機能の保全、確保などの流出抑制対策の推進                           | 引き続き実施    | ●    | -   | ●   | ●   | -   | -    | -   | -  | ●   | -   | -     | - |
| 浸水被害軽減地区の検討   | 引き続き実施    | ●    | ○   | ○   | ○   | -   | ○    | -   | ○  | -   | -   | -     | ○ |
| ■河川における機能の確保  |           |      |     |     |     |     |      |     |    |     |     |       |   |
| 河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による流下能力の保全                                  | 引き続き実施    | ●    | ●   | ●   | ●   | ●   | ●    | ●   | ●  | ●   | ●   | -     | ● |
| 樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保  | 引き続き実施    | ●    | ●   | ●   | ●   | ●   | ●    | ●   | ●  | ●   | ●   | -     | - |
| 河川管理の高度化の検討   | H30から順次実施 | ●    | -   | ○   | ○   | -   | ○    | -   | ○  | ○   | -   | -     | ● |
| ■施設能力を上回る洪水への対応   |           |      |     |     |     |     |      |     |    |     |     |       |   |
| 優先的に対策が必要な河道掘削などの洪水を河川内に安全に流すためのハード対策及び天端舗装などの危機管理型ハード対策の実施 | 引き続き実施    | ●    | -   | -   | -   | -   | -    | -   | -  | ●   | -   | -     | ● |
| ■被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備                         |           |      |     |     |     |     |      |     |    |     |     |       |   |
| 円滑な水防活動のため橋脚等への簡易水位計・量水標設置                                  | H30から順次実施 | ●    | ○   | ○   | ○   | -   | ○    | -   | ○  | ○   | ●   | -     | ● |
| 迅速な水防活動及び緊急復旧活動を行う支援の拠点となる防災ステーションや大規模な防災拠点整備に向けた検討         | 引き続き実施    | ●    | ●   | ●   | ●   | ○   | ○    | ○   | ○  | ○   | ●   | -     | ● |

# 平成30年度・令和元年度の主な取組(浜松市)

## 平成30年度実施

### ○水害リスク情報等の共有に向けた取組

#### ●洪水ハザードマップの周知・啓発

防災に関する知識の普及及び啓発の拠点施設として「浜松防災学習センター」をオープン(H30.12)

#### 【実施概要】

1階の入口正面に「浜松市防災マップ(GIS)」を設置。画面をスクロールしながら、自分の住んでいる地域の災害特性を学ぶことができるとともに、「我が家のハザードマップ」を簡単に作成することができる。



(ハザードマップを体験する中学生)

### ○水災害教育の充実

#### ●平成30年4月から、全市立小中学校で防災教育教材「浜松市版防災ノート」の活用をスタート

#### 【実施内容】

防災ノートは小学生用3種類(低・中・高学年)と中学生用。発達段階に応じて内容が充実する。地震以外の自然災害や避難行動の集団心理、各種警報などの知識を提供。

5・6年生で自ら適切な避難行動を判断できる力を養う。中学生用は自助、共助への考えを深める。



(6/27静岡新聞)

## 令和元年度予定

### ○「逃げ遅れゼロ」を達成するための取組

#### ●水害リスク情報等の共有に向けた取組

・水位計の設置(九領川、権現谷川、御陣屋川、北裏川)



県設置事例:一級河川米沢川(浜松市天竜区)

### ○避難行動を促す取り組み

●「浜松版マイ・タイムライン」を作成し、台風発生前からの時系列にそった自分の行動を確認、風水害時の備えと早めの避難行動について啓発を図る。



(H30防災委員研修会)



(H30地域防災リーダー養成研修会)



# 平成30年度・令和元年度の主な取組(磐田市)

## 平成30年度 実施

### ○防災意識向上のための取組み

#### ●防災出前講座の実施

中学校や各種団体に出向き、防災出前講座を実施。

要支援者避難の核となる民生委員児童委員には、風水害時にとるべき情報収集や避難行動について講話した。



### ○円滑で確実な避難に資する情報発信

#### ●磐田市メール配信サービス「いわたホットライン」の普及

広報チラシを作成したほか、各種団体や携帯電話販売店と協力して登録支援を行った結果、前年比で登録者数4,874人の増。

H31.3月末 登録者数27,196人(対人口16.0%)

### ○地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組み

#### ●磐田市水防演習を実施

自治会、女性団体及び国際交流協会が簡易水防工法を実施するなど多様な層が参加した。

#### ●土のうステーションの設置 市役所本庁舎、4支所



## 令和元年度 予定

### ○防災意識向上のための取組み

#### ●防災出前講座の実施

防災出前講座のほか地区単位で水害版DIGを継続実施。

#### ●想定最大規模の降雨量によるハザードマップの作成

### ○円滑で確実な避難に資する情報発信

#### ●磐田市メール配信サービス「いわたホットライン」の普及

#### ●河川情報システムの改修

システムの改修にあわせて、市設置の水位計を停電対応型に更新する。停電時も継続して観測可能となり、ホームページ公開することで住民自ら水位を確認し早期避難する基準としてもらう。



### ○地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組み

#### ●磐田市水防演習継続を実施

#### ●土のうステーションの設置

# 平成30年度・令和元年度の主な取組(掛川市)

## 平成30年度実施

### ○水害リスク情報等の共有に向けた取組

●洪水予報河川、水位周知河川における最大規模の浸水想定図を作成配布

- ①想定最大規模の洪水浸水想定区域図の作成  
菊川水系・太田川水系(平成30年9月)
- ②洪水浸水想定区域への説明会及び全戸配布  
(平成30年9月～10月実施)



・「家庭の避難計画」作成の積極的な推進と家族全員で避難行動の共有を図り防災訓練に参加する。

・同報無線が屋内で聞ける防災ラジオの全世帯への無償貸与や防災メール登録の推進。

### ○地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

●出水期に備えた水防工法の習熟、関係機関と連携した水防体制の強化を図りました。

- ①自主防災会による「家庭における浸水対策」訓練の実施  
(浸水を再現した訓練)
- ②水防団による各種水防工法の習熟
- ③建設業組合による重機を活用した水防訓練の実施



### ○要配慮者施設における確実の避難に向けた取組

●確実な避難体制の確保のための避難確保計画の作成、避難確保計画に基づく避難訓練の実施の促進

避難確保計画等の事業所説明会(H30. 6. 11 2回開催)

- ①水防法等の一部を改正する法律の概要等について
- ②避難確保計画の作成説明(洪水時等の避難確保計画)

## 令和元年度予定

### ○水害リスク情報等の共有に向けた取組

●想定最大規模の外力を対象とした洪水想定区域図を基にした洪水ハザード作成・周知の実施

- ①想定最大規模による洪水浸水想定区域の見直し  
に伴い、洪水ハザードマップ(掛川市防災ガイドブック)  
の改訂を検討する。
- ②地域や事業所等で行う出前講座などで想定最大  
規模の洪水浸水想定区域の説明や周知を行い、水  
害リスクの共有を図る。



●広域避難体制の検討

想定最大規模の洪水浸水想定区域を踏まえ広域避難所や地域の避難場所など、各自治区と検討協議する。



### ○地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

●出水期に備えた水防工法の習熟、関係機関と連携した水防体制の強化を図る。(継続)

- ①自主防災会による「家庭における浸水対策」訓練
- ②水防団による各種水防工法の習熟
- ③水防団・事業所・地域に土のうステーションの充実
- ④砂や土のうなど水防資機材に関する事業所との協定





# 平成30年度・令和元年度の主な取組(袋井市)

## 平成30年度実施

### ○水害リスク情報等の共有に向けた取組

#### ●洪水ハザードマップの改訂

想定し得る最大規模降雨の浸水想定区域が公表されたことに伴い、既存の袋井市洪水ハザードマップを改訂した。

改訂にあたってハザードマップの周知や意見の聴取のため防災支部単位で住民説明会を実施した。17会場において延べ約400人が参加した。



住民説明の様子

### ○水防活動の継続的な実施に向けた取組

#### ●水防工法講習会及び水防演習の実施

水防団員が消防職員による水防工法の講習会を受講するとともに、太田川原野谷川治水水防組合主催による水防演習にて水防団員45名が水防工法の実演を行った。



講習会の様子



水防演習の様子

## 令和元年度予定

### ○水害リスク情報等の共有に向けた取組

#### ●洪水ハザードマップの周知

市内全世帯へ洪水ハザードマップの配布を行う。また、地区ごとに洪水ハザードマップの活用について説明会を実施する。



### ○水防活動の継続的な実施に向けた取組

#### ●水防工法講習会及び水防演習の実施

- ・消防職員による水防工法の講習会を水防団員が受講する。
- ・太田川原野谷川治水水防組合主催による水防演習にて、水防団員が水防工法の実演を行う。

# 平成30年度・令和元年度の主な取組(湖西市)

## 平成30年度実施

### ○避難行動を促す取組

- 土砂災害警戒区域での避難情報伝達訓練及び避難訓練
- ・近年、全国的に大雨による土砂災害が発生しており、住民の関心も高まっていることから、土砂災害警戒区域が存在する37地区の自主防災会と災害対策本部との避難情報の伝達訓練を実施
- ・うち2地区の自主防災会では住民が避難場所への避難訓練を行うとともに地域防災指導員による防災講座を受講



### ○地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

- 水防訓練の実施
- ・水防体制の強化並びに水防工法の技術向上を図るため、市職員と消防団員が合同で土のう作成、土のう積みの訓練を実施
- ・併せて倒木除去(チェーンソー使用)、無線機器通信訓練を実施

## 令和元年度予定

### ○避難行動を促す取組

- 土砂災害警戒区域での避難情報伝達訓練及び避難訓練
- ・(継続)土砂災害警戒区域が存在する自主防災会と災害対策本部との避難情報伝達訓練及び避難訓練の実施
- 台風時マイタイムラインの作成支援
- ・(新規)市民にタイムラインを作成してもらうよう、参考となる資料を広報紙及びウェブサイト等で公表し、啓発する

### ○要配慮者施設における確実な避難に向けた取組

- (新規)土砂災害警戒区域内にある要配慮者施設の避難確保計画の作成を促進するために支援を行う

### ○地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

- 水防訓練の実施
- ・(継続)市職員と消防団員が合同で土のう作成、土のう積みの訓練等を実施





# 平成30年度・令和元年度の主な取組(御前崎市)

## 平成30年度実施

### ○水害リスク情報等の共有に向けた取組

- 地震や津波等も含めた総合的な災害に対応するため防災意識向上を図る。
  - ・現在、御前崎市において水位周知河川に設定されている河川は存在しないが、地震や津波等の総合的な災害に対応するため、防災用品の購入費等に対して補助を行い、防災意識及び自助の意識の高揚を図っている。
  - ・平成30年11月7日に、市内及び近隣市町在住の方を対象に防災講演会を実施。
  - ・その他、依頼のあった学校や各種団体で実施する防災講座で、市の防災計画等について講演する際に、防災マップや御前崎市で実施している補助金等について説明を行い、防災意識の高揚を図っている。
  - ・御前崎市内各地区において、防災マップの更新について推進し、意見交換の場等に参加し、マップについての更新内容や掲載情報について意見交換を実施。



●平成30年11月7日 防災講演会

### ●御前崎市防災対策関連補助金チラシ

## 令和元年度予定

### ○水害リスク情報等の共有に向けた取組

- 地震や津波等も含めた総合的な災害に対応するため防災意識向上
  - ・防災用品購入費等の防災対策関連補助金の継続と市民への周知。(継続)
  - ・防災講演会の開催。(継続)
  - ・各種団体で実施する防災講座等における、御前崎市の防災計画や補助金等を周知し、防災意識の向上を図る。(継続)



▲団体依頼の防災講座



▲防災事業説明会(毎年開催)

### ○水災害教育の充実

- 地域における災害時の応急活動・マネジメントや平時の防災訓練の場でのリーダーとなる防災リーダー・講師の育成
  - ・県主催の講座や各団体が実施する養成講座等への参加を促し、防災リーダー等の育成を図る。(継続)

その他、新野川が水位周知河川へ選定された場合、洪水災害等の水害に関する対策への取り組みを実施予定。

## 平成30年度・令和元年度の主な取組(菊川市)

### 平成30年度実施

○迅速な水防活動及び緊急復旧活動を行う支援の拠点となる防災ステーション等の検討

●市内に水防活動等の拠点となる菊川河川防災ステーションを設置するため、国交省浜松河川国道事務所と菊川市との間で整備に係る基本協定を平成31年2月20日に締結しました。



### 令和元年度予定

○迅速な水防活動及び緊急復旧活動を行う支援の拠点となる防災ステーション等の検討

●令和元年度に基本設計  
●令和2年度に建設、供用開始を  
目指して事業を国・市で協同して進めていきます。





# 平成30年度・令和元年度の主な取組(森町)

## 平成30年度実施

### ○要配慮者施設における確実な避難に向けた取組

要配慮者施設の管理者に対し、避難確保計画策定等の説明を実施

### ○避難行動を促す取組

自主防災組織等に赴き、防災ハザードマップ、防災ガイドブックを用いて、災害についての出前講座を実施



### ○地域での水防活動の継続的な実施に向けた取り組み

太田川原野谷川治水水防組合主催による水防演習に水防団員および地域住民等が参加し、水防工法や避難誘導訓練等を実施。



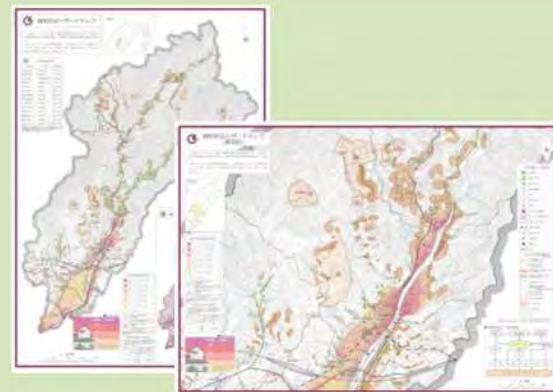
## 令和元年度予定

### ○要配慮者施設における確実な避難に向けた取組

要配慮者施設の管理者に対し、避難確保計画策定等の説明を継続

### ○避難行動を促す取組

出前講座の継続による災害についての意識、知識の向上



### ○地域での水防活動の継続的な実施に向けた取り組み

水防訓練・研修会等に参加





# 平成30年度・令和元年度の主な取組(静岡県西部地域局)

## 平成30年度実施

### ○確実な避難勧告の発令に向けた取組

#### 1. 風水害対処訓練の実施(平成30年6月29日)

大規模な風水害が発生する又は発生が予想される場合を想定し、情報連絡体制の確認、風水害に対する職員の対処能力の向上を図ることを目的とした状況付与型 図上訓練を実施した。

### ○水災害教育の充実

#### 1. 掛川市区長会連合会研修会(平成30年9月19日)

近年の豪雨災害の事例等も踏まえ、「自治会として、どのような備えをすべきか」や「発災害ごとに、どのような対応が必要となるか」等の視点で講義した。

【参加人数 170人】

### ○避難行動を促す取組

#### 1. 防災教育の促進

掛川市立日坂小学校において、AR(拡張現実)技術を用いて浸水体験をすることにより、災害発生時には安全な場所へ確実に避難できるよう、防災講話を行った。

【5.6年生29人実施】



## 令和元年度予定

### ○水災害教育の充実

#### 1. 地域防災支援チームと連携した普及啓発活動

静岡地方気象台の防災気象官他で構成される、「地域防災支援チーム」と連携し、管内市町の「我が事」感をもった防災力向上に直結する取組を、静岡地方気象台と連携し推進していく。



支援チームのロゴ

### ○水害リスク情報等の共有に向けた取組

#### 1. FUJISANシステムの改修

円滑な情報共有と連携強化を図るため、FUJISANシステムの改修(平成31年4月16日～運用開始)やテレビ会議システムの導入を進めていく。

### ○避難行動を促す取組

#### 1. 広報誌による情報提供

西部地域局内の住民に対し、月1回程度「西部地域局防災ニュース」を発行し、この中での防災啓発に関する情報の発信を行う。

#### 2. 防災教育の推進

西部地域局管内の小学生、中学生を対象に、引き続き自然災害の啓発等に関する出前講座を実施する。



# 平成30年度・令和元年度の主な取組(静岡県危機対策課)

## 平成30年度実施

### ○住民避難実効性向上検討委員会

#### 1 目的

「平成30年7月豪雨」等で明らかとなった、豪雨災害関連の緊急情報が住民避難につながっていない等の課題を解決するため、有識者、行政、住民等で構成する委員会を設置し、住民避難の実効性の向上を図るための課題の分析及び解決策の具体的な検討を行った。

#### 2 検討内容

- 避難勧告等の緊急情報の伝達及び住民避難における課題の分析
- 住民が情報を正しく理解し、避難行動に確実につなげるための具体的な対策の立案

#### 3 委員会の提言書の概要(主な具体策)

##### (1)防災行政の現状と課題

気象状況の激化等状況が変化中、既存の防災施設、行政主導のソフト対策のみでは災害を防ぎきれなくなることが想定される。

##### (2)目指す社会

住民等が自らの判断で避難行動をとることが出来る災害に強い社会を目指す。

##### (3)住民避難の実効性向上のための主な取組

- ①新たな啓発手段を活用した住民等への周知啓発
- ②地域の議論を踏まえた住民等自らによる避難行動計画の作成



## 令和元年度予定

### ○避難勧告等に関するガイドラインの改正に伴う説明会の実施

平成31年3月の避難勧告等に関するガイドラインの改正について、県庁及び各地位局単位で説明会を開催し、概要や実施内容について説明を行う。

### ○住民避難実効性向上検討委員会の提言を受けた取組

#### ①新たな啓発手段を活用した住民等への周知啓発

平時において、住民等が「災害危険性を正しく知ること」と「危険度に応じた避難行動を考えておくこと」を促進するため、従来から行ってきた啓発の取組に加え、新たに防災アプリや水害・土砂災害に関する啓発ビデオ等を活用し、住民等への周知啓発をなお一層推進する。

#### ②地域の議論を踏まえた住民等自らによる避難行動計画の作成

住民等は避難行動計画(マイ・タイムライン等)作成のために地域ごとにワークショップを行い、水害・土砂災害の危険性や避難方法等を住民間で確認し、県や市町はその取組を支援する。県はその支援の内容を手引書にまとめて、県内各地域への展開を図る。

←防災アプリのイメージ

→マイ・タイムライン作成のイメージ

マイ・タイムラインとは…

一人ひとりのマイ・タイムライン(イメージ)

マイ・タイムラインの検討の過程でー

- 1 リスクを認識できる  
-自分の家が浸水している  
-避難まで早い など
- 2 逃げるタイミングがわかる  
-いつ逃げるか  
-誰と逃げるか  
-危険な場所をよけて逃げるには?
- 3 コミュニケーションの輪が広がる  
-家族での意思伝達などで、知り合いになれる  
-ご近所とのつながりが強くなる

マイ・タイムラインができるとー

- 1 災害時の防災行動チェックリストで対応の遅れを防止
- 2 災害時の判断をサポート

逃げ遅れゼロ



# 平成30年度・令和元年度の主な取組（静岡県河川砂防局）

## 平成30年度実施

### ○逃げ遅れゼロのための取組

- 要配慮者利用施設における確実な避難に向けた取り組み
  - ・市町及び県の関係機関が主催する研修会等で、県職員が講師として参加し、避難確保計画の作成に関わる取り組みの支援を実施(通年)  
全3回、318名
- 避難行動を促す取り組み
  - ・県庁見学にて水防災に関わる啓発講座を開催（通年）  
全61回、3,238名（過去最高の見学者数を記録）
  - ・「水シンポジウムinふじのくに・沼津」の開催（平成30年8月23・24日）  
参加者：約400名
  - ・市町HM作成円滑化のための研修会を実施（平成31年2月5日）  
参加者：約70名
  - ・本年5月までに想定最大規模の洪水浸水想定区域図（46河川）を指定・公表

### ○ハード対策の取組

- 平成30年7月豪雨等の被害を受け、重要インフラの緊急点検を実施
  - ・防災のための重要インフラ等の機能維持
  - ・国民経済・生活を支える重要インフラ等の機能維持の観点から、特に緊急に実施すべきソフト・ハード対策について3年間（平成30年度～平成32年度）で集中的に実施

【平成30年度】

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 河川（河道掘削、樹木伐採等）  | ： 49箇所 |
| 砂防（土砂災害防止施設の整備） | ： 19箇所 |

## 令和元年度予定

### ○逃げ遅れゼロのための取組

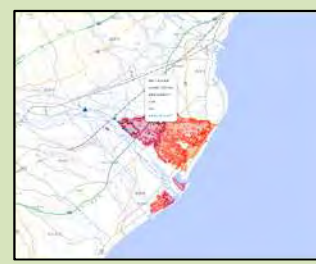
- 避難行動を促す取り組み
  - ・平成30年度に各土木事務所にて設置した危機管理型水位計の観測データを「サイポスレーダー」にて公表
  - ・危機管理型水位計運用協議会の専用サイト（川の水位情報）で閲覧している水位データを、「サイポスレーダー」に取り込むことで、従来の水位計のデータとともに一元的に把握可能となる。
  - ・堤防が決壊した場合、どこが・いつ・どのくらい浸水するかを時系列で見ることのできる国土地理院「浸水ナビ」への登録（46河川）



危機管理型水位計



「サイポスレーダー」で公表



「浸水ナビ」への登録

- マイ・タイムライン研修会（中部地区の市町職員対象）を実施（令和元年5月31日）  
内容：洪水ハザードマップを活用したマイ・タイムライン作成  
会場：静岡県島田土木事務所（島田市）
- 中部地方治水大会静岡大会の開催（令和元年10月23日）  
内容：講演会、各市町意見発表等  
会場：男女共同参画センター あざれあ（静岡市）

### ○ハード対策の取組

【令和元年度】

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 河川（河道掘削、樹木伐採等）  | ： 53箇所 |
| 砂防（土砂災害防止施設の整備） | ： 38箇所 |



# 平成30年度・令和元年度の主な取組(袋井土木事務所)

## 平成30年度実施

### ○水位周知河川に指定されていない河川での取組

- 水位計・河川監視カメラの増設の検討  
危機管理型水位計を設置(H31.2.28完成)

観測開始水位を  
高水位の1/2で実施

#### 【実施概要】

- ・危機管理型水位計を設置対象  
16河川に設置完了  
(稲荷部川、牛淵川、黒沢川、  
沢水加川、菊川、一雲済川、  
上野部川、安久路川、祝川、  
神代地川、旧ぼう僧川、倉西川、  
小藪川、半ノ池川、馬込沢川、  
西大谷川)



さばかがわ  
沢水加川(向田橋)  
さばか  
菊川市沢水加

### ○要配慮者施設における確実な避難に向けた取組

- 要配慮者利用施設管理者を対象とした防災情報等の提供  
・公立学校の教員を対象とした防災研  
修会場で水害について出前講座を  
行った。

#### 【開催日、出席人数】

H30.11.12  
約60名



### ○水害リスク情報等の共有に向けた取組

- 水位周知河川の拡大を検討  
新野川において水位周知河川検討業務に着手

## 令和元年度予定

### ○水位周知河川に指定されていない河川での取組

- 水位計・河川監視カメラの増設の検討  
河川監視カメラ(Webカメラ)の設置

#### 【実施計画】

- ・総合流域防災計画に位置付けられた16箇所(水位計が設置されている箇所で監視カメラが設置されていない箇所)に順次整備する。

#### 【実施予定】

- ・沖之川(沖之川水位観測所)、倉真川(上屋敷水位観測所)、磐田久保川(江川橋水位観測所)に設置

### ○要配慮者施設における確実な避難に向けた取組

- 要配慮者利用施設管理者を対象とした防災情報等の提供

### ○水災害教教育の充実

- 学校などと連携した洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充  
・施設管理者や小中学校の生徒を対象に水害についての出前講座を実施する

### ○水害リスク情報等の共有に向けた取組

- 水位周知河川の拡大を検討  
新野川を水位周知河川に指定

# 平成30年度・令和元年度の主な取組(浜松土木事務所)

## 平成30年度実施

### ○確実な避難勧告の発令に向けた取組み

- 洪水対応演習ホットライン訓練の実施(H30.6.29)

#### 【実施概要】

・水位周知河川 都田川  
瀬戸橋水位観測所(浜松市)  
にて10時30分氾濫危険水位  
(6.75m)到達と想定して実施

浜松土木事務所長と浜松市  
危機管理監との間で実施



### ○水害リスク情報等の共有に向けた取組

- 危機管理型水位計の設置

#### 【平成30年度 設置河川】

(浜松市天竜区)  
相川、河内川、米沢川  
杉川、西阿多古川、西川  
(浜松市北区)  
宇利山川、日比沢川  
都築大谷川  
(浜松市西区)  
東神田川  
(湖西市)  
入出太田川



東神田川 設置状況

## 令和元年度予定

### ○避難行動を促す取組

- 浜松土木事務所管内の小学生・中学生を対象に  
水害等の啓発等に関する出前講座や現場見学会を行う。

平成30年10月2日 安間川遊水地での現場見学会



### ○水害リスク情報等の共有に向けた取組

- 県の河川Webカメラの映像を市と共有することにより監視の目を  
増やし、水防体制の強化を図る。



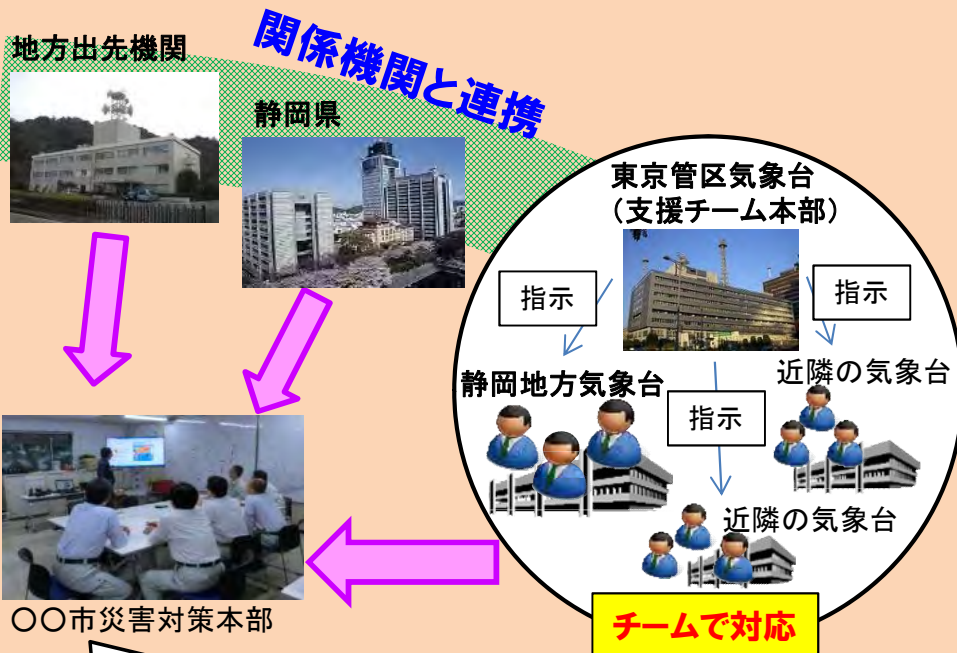


# 平成30年度・令和元年度の主な取組(静岡地方気象台)

## 平成30年度実施

### 気象防災対応支援チームの創設

- 市町村等の防災対応の支援を強化すべく、災害が発生した(又は発生が予想される)場合に、都道府県や市町村の災害対策本部等へ気象庁防災対応支援チーム(JETT)として気象庁職員を派遣。国土交通省のTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の一員として活動。
- 現場のニーズや各機関の活動状況を踏まえ、気象等のきめ細かな解説を行うことなどにより、地方公共団体や各関係機関の防災対応を支援。
- 平成30年5月1日に正式発足。



〇〇市災害対策本部

救助活動、捜索活動、復旧活動等  
いろいろな局面で必要となる活動の  
判断を気象状況の解説で支援

災害時等、都道府県や  
市町村等へ職員を派遣

## 令和元年度予定

防災気象情報をより一層活用しやすくするために  
令和元年度出水期を目途に、「危険度分布」が示す危険度の高まりが確実に伝わるよう、市町など希望者向けに通知するサービスを開始する予定。





# 平成30年度・令和元年度の主な取組（浜松河川国道事務所）

## 平成30年度実施

### ①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保

- 学校などと連携した洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充
  - ・授業を実施するための、防災教育資料(指導計画、板書計画、教師用解説書、災害に関する映像資料)を作成した。
  - ・作成に当たっては、菊川市立加茂小学校、掛川市立千浜小学校において、試行授業を3回ずつ実施した。

試行授業(加茂小)



試行授業(千浜小)



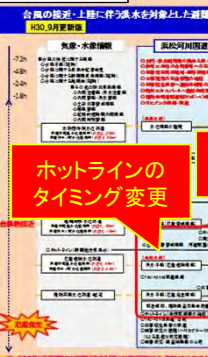
防災教育資料(洪水被害の様子)



### ②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組

- タイムラインの導入の推進及び訓練による検証
  - ・4月に実施した浜松河川国道事務所の洪水対応演習及び各機関の防災計画の改訂等を踏まえて更新した。
- 対応行動整理表による多機関連携型タイムラインの拡充
  - ・H29に作成した素案を基に、10月に実施した意見交換会を踏まえ、対応行動整理表を作成した。

タイムライン



体制変更

避難勧告等の名称の変更  
発令タイミングの見直し

ホットラインの  
タイミング変更

避難地区  
の追加

トリガー  
の見直し

行動項目  
の見直し

対応者の  
見直し

対応行動整理表

| 実施機関         | 実施項目   | 実施時期 | 実施状況 |
|--------------|--------|------|------|
| 浜松河川国道事務所    | 洪水対応演習 | 4月   | 実施済み |
| 各機関          | 防災計画改訂 | 4月   | 実施済み |
| 多機関連携型タイムライン | 見直し    | 10月  | 実施済み |

## 令和元年度予定

### ①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保

- 学校などと連携した洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充
  - ・令和2年学習指導要領改訂に伴う防災教育資料の更新
  - ・地域特性を踏まえた対象災害の選定
  - ・用語の解説資料作成
  - ・資料の汎用性確保
  - ・防災教育支援の継続性確保
  - ・他校への情報提供と防災教育の推進
  - ・防災教育の進捗調査

指導計画(例)

| 指導計画(例)  | 指導計画(例)  |
|--|--|
| <p>【指導計画(例)】</p> <p>1. 指導計画(例)</p> <p>2. 指導計画(例)</p> <p>3. 指導計画(例)</p> | <p>【指導計画(例)】</p> <p>1. 指導計画(例)</p> <p>2. 指導計画(例)</p> <p>3. 指導計画(例)</p> |

板書計画(例)

### ②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組

- タイムラインの導入の推進及び訓練による検証
  - ・洪水対応演習、防災計画改定による検証
- 対応行動整理表による多機関連携型タイムラインの拡充
  - ・訓練実施による対応行動整理表の見直し

#### ■スケジュール(案)

#### ■次年度以降の見直し検討(案)

- ①4月の体制変更等による見直し
- ②洪水対応演習等の訓練による見直し
- ③出水期等の運用を踏まえた見直し

| 取組          | 今年度の取組              |             |                |                     |                   |
|-------------|---------------------|-------------|----------------|---------------------|-------------------|
|             | 2016年               | 2017年       | 2018年          | 2019年               | 2020年             |
| タイムラインの見直し  | 見直し検討①～③について継続的に見直し |             |                |                     |                   |
| 対応行動整理表の見直し | 素案の策定               | 案の作成(ヒアリング) | 策定(意見交換会/意見聴取) | 見直し検討①～③について継続的に見直し | 訓練の実施(DIG/学習型を想定) |